

# 犬の散歩中のルールとマナー

犬の散歩中のマナーについて、次のような相談が多く寄せられています

- 公園、道路などへのフンの放置
- 家の門柱や壁へのオシッコのシミやにおい
- 綱をつけない（ノーリード）で散歩をする人

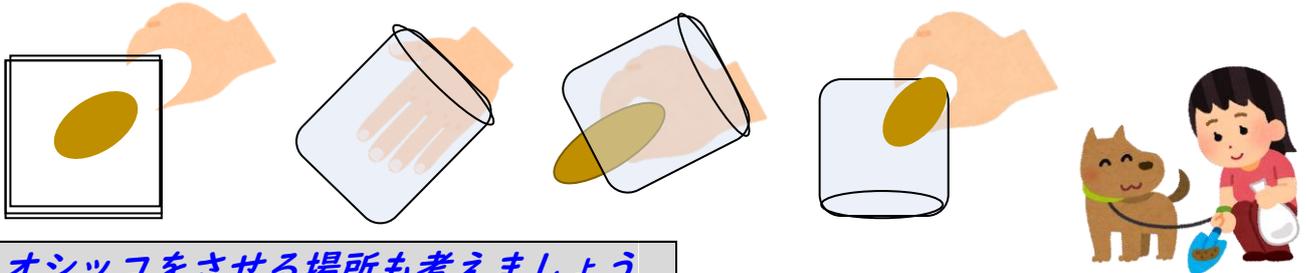
## トイレが終わってから、散歩に連れて行きましょう

- “散歩＝排泄させるためのもの”ではありません。
- トイレのために散歩に行くのではなく、家でトイレをしたご褒美として散歩に行くことを習慣にしましょう。

## 散歩中のフンは必ず持ち帰りましょう

- 散歩中は、道路や公園などの公共の場所、及び他人の土地をフンで汚さないようにしましょう。
- 散歩の時はフンを始末するビニール袋を持参し、飼い主が責任をもって必ず持ち帰ってください。

①フンの上にもちり紙をおく ②ビニール袋に手を入れる ③フンをつかむ ④ビニールを裏返す



## オシッコをさせる場所も考えましょう

- 散歩の時はペットボトルの水を持参し、オシッコを流すなどしましょう（犬の飲料水としても役立ちます）。
- オシッコをさせる場所も考えましょう。民家の玄関や壁、飲食店などの店先でのオシッコは特に迷惑になります。オシッコをしそうな仕草をしたら、リードで「行くよ」の合図をおくりましょう。

## 必ずリードでつなぎましょう

- 散歩や公園で遊ぶときも、必ずリードでつないでください。
- 綱をつけない（ノーリード）で散歩をさせることは、熊本市動物愛護管理条例で禁止されています（罰則に処せられることがあります）。また、放れている犬は捕獲の対象となります。



## 迷子札をつけましょう

- 鑑札と注射済票は、必ず犬の首輪につけましょう。（迷子札の代わりにもなります）
- 飼い犬が迷子になったら、すぐに熊本市動物愛護センター（096-380-2153）へご連絡ください。

人とペットが快適に暮らすためには、  
飼い主がルールとマナーを守ることが大切です。